

理 念

21 世紀は環境と食の世紀といわれています。農業は環境と食を守る旗手です。農業を通して、美しい郷土、きれいな日本、そして地球環境保全に努め、循環型社会形成のために貢献することが松山株式会社の使命です。

国蝶「おおむらさき」の生息している、美しい自然を起点として、地域、長野県、日本、地球規模で求められている環境対策に貢献します。

環境方針**■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。**

資源の有効活用・環境負荷の軽減・低燃費・減肥料栽培体系など、環境にやさしい農業を支援する作業機を開発します。

■地球温暖化を防ぐための施策をおこないます。

電力、上水道、ガス、灯油の使用量を削減し、二酸化炭素の排出を抑制し、省エネルギーに努めます。

製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。

雨水の活用を図り、上水道の使用量を削減します。

■リサイクルや使用抑制を図り、限りある資源を大切に使います。

紙の分別をおこない、再資源化を図ります。

再生紙の使用を徹底します。

紙の使用量を削減します。

古着・古毛布を集め、再利用をします。

■調整池の水質を浄化し富栄養化を防ぎます。**■グリーン購入を進めます。****■広大な社有林の管理に努めます。**

農薬の使用場所を限定し、社有林内では使わない。

間伐を計画的におこない、遊歩道を整備し里山を地域に開放します。

松くい虫の被害を環境にやさしい施策「樹幹注入」で防ぎ、後世に赤松林を残します。

「おおむらさき」の保全をおこない、観察会等を実施し地域に公開します。

■法を守ります。

環境関連法規や地域条例を遵守し、地域社会の環境保全に寄与します。

■化学物質を適正に管理します。

松山株式会社は、以上の方針に基づいて社員全員で活動します。

2013 年 1 月 1 日改訂

2004 年 11 月 15 日制定

松山株式会社

取締役社長 松山 信久

改訂履歴

- 2007年1月1日 ■環境保全型農業を支援する機械類の開発をします。・・・追加
■調整池の水質を浄化し富養化をふせぎます。・・・追加
- 2008年1月1日 ■グリーン購入を進めます。・・・追加
- 2011年1月1日 ■化学物質を適正に管理します。・・・追加
- 2012年1月1日 製品梱包を小さくし、輸送に関わる環境負荷を軽減します。・・・追加
- 2013年1月1日 制定者の社名から“本社工場”を削除した。

事業の概要

① 事業者名および代表者名

松山株式会社 代表取締役社長 松山 信久

② 所在地

本 社 長野県上田市塩川 5155
物流センター 長野県上田市塩川 2949
北海道営業所 北海道岩見沢市栗沢町由良 194-5
旭川出張所 北海道旭川市永山北 1 条 8 丁目 32
帯広出張所 北海道河西郡芽室町東芽室北 1 線 18 番 10
東北営業所 宮城県大崎市古川清水 3 丁目石田 24 番 11
関東営業所 栃木県栃木市大平町横堀みずほ 5-3
長野営業所 長野県上田市塩川 2949
岡山営業所 岡山県津山市綾部 1764-2
九州営業所 熊本県宇土市松山町 1134-10
南九州出張所 宮崎県都城市甲斐元町 3389-1

③ 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

責任者 取締役総務部長 林 清弘
担当者 総務部総務課主任 森 史彦
連絡先 TEL 0268-42-7500
FAX 0268-42-7520

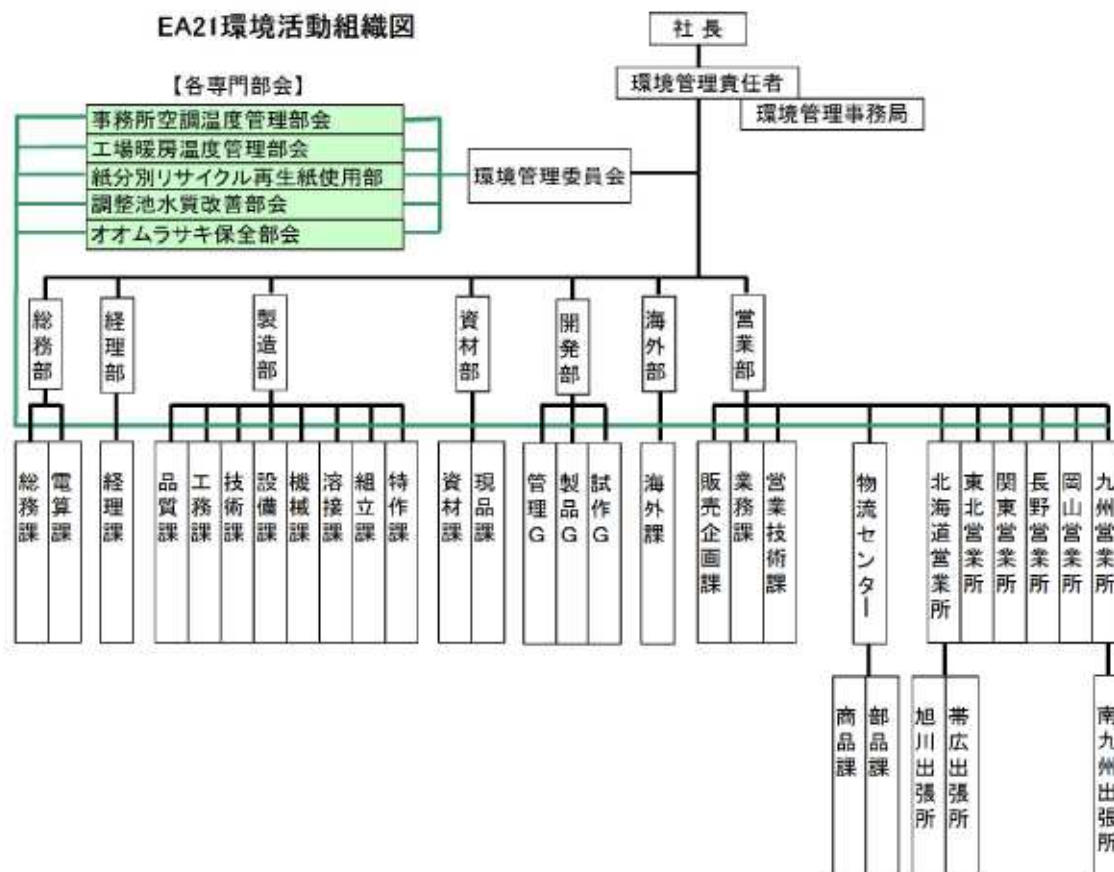
④ 事業の内容

農業機械の開発、設計、製造、販売

⑤ 事業の規模

製品出荷額 171 億円
全従業員数 306 名
EA21 対象人数 306 名
本社工場延べ床面積 19,966 m²

EA2 1 推進体制



環境管理委員会

委員長	取締役社長 松山 信久
副委員長	取締役総務部長 林 清弘

事務局	総務課長 小崎 浩
	総務課係長 清水 信男
	総務課主任 森 史彦

統括	専務取締役 清水 英一
総務部	取締役総務部長 林 清弘
資材・製造部	取締役資材部長 宮沢 彰夫
海外・営業部	取締役営業部長兼海外部長 山下 祐二
開発部	取締役開発部長 村山 生夫
経理部	取締役経理部長 大池 賢治
製造部	製造部長 臼井 明文

環境管理委員会専門部会

部会名	事務所空調温度管理部会
部会長	総務課長 小崎 浩
部会名	工場暖房温度管理部会
部会長	製造部付 海瀬 秀樹
部会名	紙分別リサイクル再生紙使用部会
部会長	開発部係長 山本 誠

部会名	調整池水質改善部会
部会長	設備課長 北村 正彦
部会名	オオムラサキ保全部会
部会長	組立課係長補佐 山浦 淳一

活動対象範囲

- ① 対象組織 本社工場、全営業所、全出張所、物流センター
- ② レポートの対象期間 2012年1月1日～2012年12月31日

実績（全組織）

環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単位	2012年度
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量	Kwh	2,362,577
	ガス使用量	t	303
	空調における灯油使用量	t	104.6
二酸化炭素排出量		Kg-CO ₂	2,527,601
廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量	Kg	5,066
総排水量の削減	上水道使用量	t	13,443

*2011年度は営業所、出張所、及び物流センターの実績が3か月分しかない為、実績として出していません。

環境目標とその実績（本社工場）

当社は以下に記載の目標を掲げて環境活動に取り組んできました。

主要な環境目標と環境負荷・実績

目的項目	実施項目	単位	2012 年度		2011 年度	2010 年度
			目標	実績	実績	実績
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 (0.455kg-CO ₂ /Kwh)	Kwh	1,950,818	2,072,372	2,053,493	2,161,475
		前年比	5% 削減	0.9%	-5%	1.8%
	ガス使用量	t	270	291	276	291
		前年比	2% 削減	5.5%	-5.2%	11.9%
	空調における灯油使用量	t	75	82.4	76.6	79
		前年比	2% 削減	7.6%	-3%	20.4%
二酸化炭素排出量	(排出係数 0.455)	Kg-CO ₂	-	2,240,780	2,181,964	2,271,148
		前年比	-	2.7%	-3.9%	6.4%
廃棄物排出量の削減	燃やすしかないゴミの焼却量*	Kg	6,110	7,160	6,110	6,150
		前年比	維持	17.2%	-0.7%	0.1%
	紙(帳票)使用量	Kg	280	280	280	280
		前年比	維持	0%	0%	-33.3%
	紙(コピー用紙)使用量	Kg	3,093	3,007	3,093	3,151
		前年比	維持	-2.8%	-1.8%	-4.9%
	ウエス購入量	Kg	1,044	1,050	1,065	975
		前年比	2% 削減	-1.4%	9.2%	4.8%
	鉄粹回収量	t	-	445		
総排水量の削減	上水道使用量	t	10,787	11,441	11,007	10,461
		前年比	2% 削減	3.9%	5%	3.3%
化学物質 (PRTR 制度対象物質)の適正管理	エチルベンゼン取扱量* ¹	Kg	4,993	5,250	5,548	5,818
		前年比	10% 削減	-5.4%	-4.6%	—
	キシレン取扱量* ¹	Kg	8,755	9,612	9,728	10,145
		前年比	10% 削減	-1.2%	-4.1%	—
	トルエン取扱量* ¹	Kg	1,355	1,499	1,505	1,491
		前年比	10% 削減	-0.4%	0.9%	—

燃やすしかないゴミの焼却量については今回より本社に長野営業所、物流センター分を加えた排出量に変更しました。 1 計算式が間違っていたため、量の訂正をしました。

2012年環境活動計画の内容と取組結果の評価(本社工場)

推進項目	主要な活動計画の内容	取組み結果	担当部門	
環境保全型農業の支援	1資源の有効活用	施肥や播種量をトラクタの車速に合わせて自動的に調節し、肥料や種子の無駄を防ぐ車速連動システムについて関連作業機へ搭載を研究している。	開発部	
	2低燃費(CO ₂ 排出量削減)	製品を置く鉄枠について出来る限り回収を行い、再利用に努めている。	営業部	
		浅起こしタイプで従来機より高速・広幅耕うんを可能にしたサーフロータリーTBMシリーズを商品化した。 	開発部	
	3減肥料栽培体系	従来より消費電力の少ないレタパック(レタス包装機)NV552シリーズを開発した。	従来より消費電力を少なくし効果を高められるように畝内施肥、深層施肥技術の研究に取り組んでいる。	開発部
		肥料の使用量を少なくし効果を高められるように畝内施肥、深層施肥技術の研究に取り組んでいる。		
【評価】TBMシリーズは更なる作業速度・能率の向上を目指して開発されたロータリーであり、環境保全型農業の支援機として今後の活躍が期待されている。				
電力使用量の削減(前年比5%減)	1省エネパトロールの実施	4回実施し、不必要な電気の消灯等の指導をした。	製造部	
	2デマンド管理	デマンド装置を設置して契約電力を越えそうな時は警報が鳴り、決められた機器・電気類を停止し、(夏季)契約電力内に抑えた。		
	3冷風扇への変更	溶接課にあるスポットクーラーの半数近くを冷風扇に変えて消費電力を減少させた。		
	4再生可能エネルギーの利用	災害時における携帯電話の電源確保として携帯電話用ソーラー充電器を用いて日常的にも使用し節電を行っている。	総務部	
	【評価】0.9%増加した。電力に限った事ではないが、本年は生産が増え必然的に使用量も上がってしまった。生産高比で見ると45.3から41.9下がっているのので、活動の効果は出ていると思われる。			
二酸化炭素排出量の削減	1温度管理に対する意識高揚	オリジナルポスター(4種類づつ)を作成し、事務所に掲示を行い社員にクールビズ・ウォームビズを呼びかけた。 	事務所空調温度管理部会	
	2送風機の活用	会議室、営業部にて暖かい空気が循環するように扇風機を併用した。		
	3ガス使用量の把握	事務所内エアコン用ガスの使用量を調べ活動の基礎データにした。		

ガス及び灯油使用量の削減(前年比2%減)	4 エアコンの更新	1階及び3階フロアーのエアコンを省エネタイプの物に更新をした。	総務部	
	【評価】5.5%の増加。生産の増加に伴い、使用量も増えたと思われる。			
	1 温度管理表の運用	工場内暖房使用基準について温度管理表に従い実施した。	工場暖房温度管理部会	
	2 温度データの把握	工場各職場の温度データを取り、活動の基礎データとした。		
	3 工場遠赤暖房機の更新	8係組立ラインの東側の5つの暖房機を効率の良い物(サーモスタット、手元スイッチ付)に更新をした。	総務部	
	4 シートシャッターの交換	組立課とプレスのシートシャッターを高速タイプの物に更新して、工場内の温度低下の改善を図った。	製造部	
【評価】7.6%の増加。生産増加に伴い時間外にも暖房を付けていたのが大きな要因と思われる。生産高比は16.9から16.7へ下がっている。				
廃棄物の削減	1 紙分別を行う	機密書類の取り扱い基準を変更した。	サ 紙 部 イ 分 会 ク 別 ル リ	
	2 ゴミゼロ運動に参加	社員26名にて周辺公共道路のゴミ拾いを行った。(5月30日)	総務部	
	【評価】17%の大幅増加。今回から本社だけではなく、長野営業所と物流センターを加えた量で比較をした。本社の生産量増加に加えて、長野営業所と物流センターの取扱量の増加が要因と思われる。			
	紙の効率的な使用	1 必要部数のみの出力、裏紙の再利用	裏紙用プリンターと両面用プリンターを分けて、必要に応じた使い分けをしている。	総務部
		2 複合機の導入	印刷機能とファックスを兼ね備えた複合機を1Fに引き続き本年は2F、及び2.5Fにも導入した。ファックスはデータとして蓄積される為、必要な物のみを紙に印刷をしている。	
	【評価】2.8%の減少。紙の使用量は年々減少しており、特定の部署に限らず裏面使用済みの用紙が見られるようになってきた。			
ウエス購入量の削減(前年比2%減)	1 古着の再利用	家庭で不要になった衣類を集めウエスとして再利用をしている。	総務部	
【評価】1.4%の減少。年々使用量が増えていたこともあり、上げ止まりになった感もある。				
調整池富栄養化防止	1 水質検査	定期的実施している。	設備課	
	【評価】定期的な検査結果を通して、推移を把握していく。			
総排水量の削減	1 雨水利用	1,000ℓタンク2ヶの雨水を利用して植栽の水やりに用いた。	総務部	
	2 打ち水の実施	雨水タンクを利用して社員の子供を対象としたニプロ林間学校(8月7日)にて打ち水を実施をした。		



		【評価】3.9%の増加。生産高比で見ると24.3から23.1へ下がっている。	
グリーン購入の推進	1 エコマーク・再生材商品の購入推進	グリーン購入に適合しているエアコン、複合機、シュレッター等を選んだ。	総務部
	【評価】大物商品に限らず、文具等の日常品にも気を付けて購入していく。		
社有林管理	1 伐採木の活用	伐採した松くい虫被害木を利用して、松山記念館分館に訪れたお客様の暖房として薪ストーブで燃やした。	総務部
	2 遊歩道の整備	オオムラサキ観蝶会の前に社員有志にて木材チップを敷き直した。	
	【評価】地域住民、社員そして子どもたちが一緒に楽しめる里山を目指して、手入れ(整備)を継続していく。様々な活用方法を探っていきたい。		
国蝶「オオムラサキ」の生育環境保全(乱舞を夢見て)	1 肥培管理の実施	植栽したエノキ、キハダ、ブツレアに肥料を施した。	オオムラサキ保全
	2 羽化個体数の調査	7月の1ヶ月間敷地内にてオオムラサキの数を調査をした。	
	3 「エノキ」の実生の調査	社員有志にて社有林内の実生(みしょう)のエノキや残したクヌギ、コナラに目印のポールを立てた。併せてエノキに絡みついたツル草を刈り取った。(7月と9月)	
	4 観蝶会の実施	第7回オオムラサキ観蝶会を7月21日に実施をし周辺住民151名が来社した。	総務部
	【評価】山梨で桁違いの生育地が発見されてしまったが、日本一の生育地を目指して、地道に活動を続けていく。		
	1 複合防災訓練の実施	緊急地震情報発令を想定した避難訓練、消火訓練と環境負荷災害対応訓練を10月16日実施した。環境負荷災害訓練は「灯油・オイル・廃油・薬品の漏洩」、「塗料庫からの出火」を想定し、対応方法の検討を行った。	総務部

環境上の緊急事態への準備および対応	2電線の地下埋設	正門から社屋までの電柱が駐車場側に倒れると車でショートし炎上が予想されるため、5本の電柱を外し、電線を地下に埋めた。又景観もすっきりした		総務部
	3排水処理室の窓追加	薬品漏えい時の換気性能向上として排水処理室の窓を追加工事を行った。		設備課
	【評価】避難訓練では試験圃場近くまで、避難経路の危険個所を確認しながら逃げ方を学んだ。マンネリ化しない様に工夫をしていきたい。			
団体への支援	1小学生への環境活動の紹介	工場見学に訪れた小学生に対してオオムラサキの保護や社有林の管理等、環境保全活動について説明をした。また天気の良い日には遊歩道に案内をして里山体験をもらった。(合計7校 480人)		総務部
	2キッズISOプログラム事業への協力	平成20年から引続き、長野県『キッズISOプログラム事業』に協力をした。		
	3長野県緑の募金へ協力	長野県「緑の募金」運動に協力をした。		
【評価】工場見学では大勢の小学生を受け入れることが出来た。弊社の恵まれた自然環境を生かし特色ある工場見学を続けていきたい。				
化学物質使用量の削減(前年比10%減)	1化学物質の適正管理	化学物質は主に塗装関係に使用しているが、効率よく作業をするように心がけてきた。		設備課
	【評価】エチルベンゼン5.4%減、キシレン1.2%減、トルエン0.4%減となった。昨年比で見ると減量は僅かだが、生産量が増えている為生産高比ではそれ以上に下がっている。大きな削減は設備変更が伴い簡単には出来ないが、出来る事を行っていく。			

今年以降の目標（本社工場）

2013 年度も引続き「環境保全型農業」を支援する作業機の開発を行います。

電力使用量、上下水道使用量、ガス・灯油使用量の削減を図り限りある資源を大切に使用します。「燃やすしかないゴミ」の焼却量を増やさないようにします。ウエス購入量を削減します。紙を大切に使用します。

国蝶「オオムラサキ」の生息は自然環境と深く結びついています。社有林の手入れを学び、四季折々地域に公開できる里山として育成を図ります。

人の健康や生態系に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質について、適正に管理していることを定期的に確認します。

グリーン購入を進めます。

各削減目標は昨年度の目標と実績を考慮し次の通りとします。

2013 年度以降の目標値 年間(1～12 月)

	2013 年度	2014 年度	2015 年度
電力使用量 (KWh/年)	4%減	前年維持	前年維持
ガス使用量 (t/年)	2%減	前年維持	前年維持
空調における灯油使用量 (kℓ/年)	2%減	前年維持	前年維持
燃やすしかないゴミの焼却量 (kg/年)	前年維持	前年維持	前年維持
紙(帳票)使用量 (kg/年)	前年維持	前年維持	前年維持
紙(コピー用紙)使用量 (kg/年)	前年維持	前年維持	前年維持
ウエス購入量 (kg/年)	2%減	2%減	2%減
上水道使用量 (t/年)	2%減	2%減	2%減
化学物質使用量 エチルベンゼン(kg/年)	前年維持	前年維持	前年維持
キシレン(kg/年)	前年維持	前年維持	前年維持
トルエン(kg/年)	前年維持	前年維持	前年維持
グリーン購入	グリーン購入推進		
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計		

2013年度の取組内容（本社工場）

2013年度は以下の取組内容にて活動を行います。

項 目	取組内容
電力使用量	省エネパトロールの実施、節電対応、デマンドコントロール、太陽光発電の利用
ガス使用量	事務所温度管理、ウォームビズ・クールビズの実施
空調における灯油使用量	工場温度管理、温度管理表の適時改善
燃やすしかなないゴミの焼却量	紙分別の徹底、分別実態の調査
紙（帳票）使用量	必要なもののみ出力
紙（コピー用紙）使用量	必要なもの（部数）のみ出力、裏紙の再利用
ウエス購入量	家庭用古着の再利用
上水道使用量	雨水利用、漏水のチェック
化学物質の使用量	塗料の加温化、適正管理、特作課塗装ラインの改善
グリーン購入	購入推進
環境保全型農業の支援	環境保全型農業を支援する機械の研究、設計

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2012年度環境関連法規の順守評価

No	法規制等の名称	要求事項	順守評価
1	大気汚染防止法	VOC濃度測定	○
2	水質汚濁防止法	排出水の汚染状態の測定	○
3	浄化槽法	法定検査、点検、水質検査	○
4	廃棄物処理法	マニフェスト、契約書、保管基準、報告書の提出	○
5	PRTR法	排出量等の把握、届出	○
6	省エネルギー法	年間エネルギー量の算定	対象外
7	消防法	危険物保管、地下タンク点検	○
8	高圧ガス保安法	保安検査	○
9	自動車Nox・PM法	粒子状物質の排出基準、大阪府流入車規制	○
10	RoHS指令	有害6物質の使用禁止	○
11	毒物及び劇物取締法	業務上取扱者規定	○

関係機関や地域周辺等から特に指摘はありませんでした。訴訟等も同様です。

2012年環境活動内容と評価及び今年以降の目標（営業所、出張所、物流センター）

- 北海道営業所
- 旭川出張所
- 帯広出張所
- 東北営業所
- 関東営業所
- 長野営業所、物流センター（同一建物）
- 岡山営業所
- 九州営業所
- 南九州出張所

以上の順で次の頁より

平成24年度 北海道営業所 環境活動報告

作成日： 2月13日
作成者： 樋口

平24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	23年 (10~12月)
電気(Kwh)	5,561	4,849	5,553	4,562	5,264	3,007	2,909	2,815	4,100	2,914	4,320	5,176	51,030	11,066
水道(m)	11		8		42			70		57		21	209	20
LPG(kg)	0.7	0.9	0.8	0.9	1.1	1	1	0.6	0.8	0.9	1	1.1	10.8	4.4
灯油(L)	271	755	675	706	0	0					702	654	3,763	1657
コピー用紙計(kg)	5	0	0	11	12	47	3	27	23	25	19	27	198	44
コピー用紙A3(枚)											1,000		1,000	0
コピー用紙A4(枚)						10,000		5,000	5,000	5,000	1,500	6,500	33,000	10000
コピー用紙B4(枚)													0	0
コピー用紙B5(枚)	1,500			500						500			2,500	0
A5				4,500	6,000	3,000	1,500	3,000	1,500	1,500			21,000	1500
コピー用紙計(枚)	1,500	0	0	5000	6000	13000	1500	8000	6500	7,000	2,500	6,500	57,500	11500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													40,560	9456

* 排出係数0.485

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	来客フロアの照明を消す(窓が多く明るいので)	昼間は、常に消した
	冷蔵庫室温調節を小にする	常に小にした
	テレビのコンセントを抜く	常にコンセント抜いていた
水道	食器洗い、雑巾洗いは水をためて行う	節水に努めた
LPG	ガス量、温度共に小にする	常に小にした
灯油	冬はできるだけ着込み、ストーブの温度を上げない	ストーブの温度上げ過ぎずを行った
コピー用紙	裏面使用、カラーコピーは極力使わない	コピー用紙の裏面使用に徹した

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	48,500	47,000	46,000	来客フロアの照明を消す
				不必要な電気はこまめに消す
				冷蔵庫の室温調整を小にする
水道(m)	200	200	200	食器、雑巾洗いは水をためて行う
LPG(kg)	10.5	10.5	10.5	ガス量、温度共に小にする
灯油(L)	3,650	3,550	3,550	ストーブの温度を上げ過ぎない
コピー用紙(枚)	57,000	57,000	57,000	コピー用紙の裏面使用に徹する

	単位	2012年度		
		目標	実績	
電気	kwh	47,900	51,030	6.5%
水道	m	160	209	30.6%
LPG	kg	22	10.8	-50.9%
灯油	L	8,300	3,763	-54.7%
コピー用紙	枚	46,000	57,500	25.0%

平成24年度 旭川出張所 環境活動報告

作成日: 2月13日
 作成者: 渡部

平24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	23年 (10~12月)	
電気(Kwh)	1,555	1,405	1,659	1,523	1,645	1,076	1,187	1,082	1,346	980	1,372	1,455	16,285	3702	
水道(m ³)						地下水のため、量を把握していない						0	0		
LPG(kg)(ガスボンベ)													0	0	
灯油(ℓ)	629	439	449	663	85	90		72		136	225	278	3,065	821	
コピー用紙計(kg)	0	20	0	0	0	0	84	0	20	0	0	0	125	40	
コピー用紙A3(枚)							2500						2,500	1500	
コピー用紙A4(枚)		5000					5000		5000				15,000	5000	
コピー用紙B4(枚)							5000						5,000	0	
コピー用紙B5(枚)													0	0	
コピー用紙計(枚)	0	5000	0	0	0	0	12500	0	5000	0	0	0	22,500	6500	
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	17095	4387

* 排出係数0.485

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	パソコンの明るさなども調節して節電する	ディスプレイを暗くした
水道		
LPG	あまり給湯器を使わないようにする	あまり使わなかった
灯油	できるだけ暖かい格好をする	暖かい格好をし、暖房温度を下げた
コピー用紙	印刷枚数、用紙設定を確認し印刷ミスを減らす	確認してコピーした

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	16,000	15,500	15,000	屋食時は、消灯する 使わない場所の電気はこまめに消す 電源を切っても支障のないものは消す
水道(m ³)				洗い物のお湯はためて使うようにする
LPG(kg)				
灯油(ℓ)	3,000	2,900	2,900	ストーブの温度を上げないようにする
コピー用紙(枚)	22,000	22,000	22,000	印刷ミスを減らすように留意する

2012年度				
	単位	目標	実績	
電気	kwh	16,100	16,285	1.1%
水道	m ³			
LPG	kg			
灯油	ℓ	2,900	3,065	5.7%
コピー用紙	枚	26,000	22,500	-13.5%

平成24年度 帯広出張所 環境活動報告

作成日: 2月13日
作成者: 井上

平24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	23年 (10~12月)
電気(Kwh)	766	735	760	567	536	434	444	452	572	436	603	729	7034	1553
水道(m)	4	4	4	4	6	4	5	4	3	4	6	4	52	15
LPG(kg)	0.9	0.4	0.8	0.5	0.5	0.6	0.8	0.5	0.3	0.2	0.8	0.8	7.1	4
灯油(L)	258	238	259	123	119	0	0	0	0	0	0	329	1325	410
コピー用紙計(kg)	4	51	0	20	0	0	0	0	64	0	0	0	138	0
コピー用紙A3(枚)		1,500		1,500					1,000				4,000	0
コピー用紙A4(枚)	1,000	7,500							5,000				13,500	0
コピー用紙B4(枚)									5,000				5,000	0
コピー用紙B5(枚)													0	0
コピー用紙計(枚)	1,000	9,000	0	1,500	0	0	0	0	11,000	0	0	0	22,500	0
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													8498	2357

* 排出係数0.485

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	省エネの意識を高める	節電を意識した
	テレビのコンセントを抜く	ほとんど使用せず、抜いていた
	比較的明るいときは、照明を消す	消した
水道	食器洗い、雑巾洗いは水をためて行う	節水に努めた
LPG	ガス量、温度共に小にする	常に小にした
灯油	冬はできるだけ着込み、ストーブの温度を上げない	常に最少温度にした
コピー用紙	裏面使用、カラーコピーは極力使わない	コピー用紙の裏面を使用した

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度以降取組内容
電気(kwh)	6,800	6,600	6,600	昼食時は、消灯する
				比較的明るいときは、照明を消す
				夏は、室温28℃に心掛ける
水道(m)	50	50	50	食器、雑巾洗いは水をためて行う
LPG(kg)	6.9	6.9	6.9	ガス量、温度共に小にする
灯油(L)	1,300	1,250	1,250	ストーブの温度を上げ過ぎない
コピー用紙(枚)	22,000	22,000	22,000	裏面使用、カラーコピーは極力使わない

2012年度				
	単位	目標	実績	
電気	kwh	6,800	7,034	3.4%
水道	m	70	52	-25.7%
LPG	kg	14	7.1	-49.3%
灯油	L	1,400	1,325	-5.4%
コピー用紙	枚	13,000	22,500	73.1%

平成24年度 東北営業所 環境活動報告

作成日: 2013/2/22
作成者: 高橋ひとみ

平成24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	H23年 (10~12月)
電気(kwh)	3,500	3,817	3,785	4,479	4,654	3,471	2,793	2,629	2,595	2,651	3,471	4,607	42,452	1553
水道(m)	17	18	10	17	18	20	21	26	17	26	15	15	220	15
LPG(m)	230	308	288	257	81	17	14	139	234	38	104	271	1,981	4
灯油(L)	250	395	630	0	0	0	0	0	0		470	400	2,145	410
コピー用紙計(kg)	0	82	0	0	41	0	20	0	0	20	0	41	204	0
コピー用紙A3(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コピー用紙A4(枚)	0	20,000	0	0	10,000	0	5,000	0	0	5,000		10,000	50,000	0
コピー用紙B4(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
コピー用紙B5(枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
コピー用紙計(枚)	0	20,000	0	0	10,000	0	5,000	0	0	5,000	0	10,000	50,000	0
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													38051	7447

*排出係数0.547

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF 蛍光灯の間引き 席を離れる時蛍光灯やPC画面をOFFにする。	震災後、節電意識が所員全員に根付き 皆真面目に取り組んでいた。 その結果が数字にも表れている。
水道	漏水チェック 洗濯の水位を低めに設定する。	今年は平年より気温が高く降水量も少 なかった為、所内の植木が枯れ始めた。そ れを防ぐべくこまめに水やりをした結果が 使用量UPIに繋がったと思われる。 (7・8・10月)
LPG	エアコンの設定温度を厳守し、使用は控えめに。 ウォームビズ、クールビズの徹底	無理な節電でほとんどエアコンをつけな かった昨年に比べると使用量は増。しか し今年も忠実にエコAに取り組んだ。結果 が数字に表れないのが難しいところ。
灯油	ストーブの台数を2台から1台へ減らす。 工場で作業中、席を離れる時はストーブを止め る。	倉庫内でも、着衣調整などしてなるべく暖 房は使用しないよう努力している姿がみ られた。 目標値は達成の見込み
コピー用紙	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底	裏面の再利用を有効的に行い、あまり必 要のない帳票類は電算課へ依頼し自動 印刷を止めてもらった。今回一年間の購 入枚数が把握できたので、次年度はより 正確な目標値を設定できる見込み

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度取組内容
電気(kwh)	43,000	43,000	43,000	前年度の取組みを継続
水道(m)	220	220	220	前年度の取組みを継続
LPG(m)	2,000	2,000	2,000	前年度の取組みを継続
灯油(L)	2,200	2,200	2,200	前年度の取組みを継続
コピー用紙 (枚)	50,000	50,000	50,000	前年度の取組みを継続

	単位	2012年度		
		目標	実績	
電気	kwh	40,000	42,452	6.1%
水道	m	230	220	-4.3%
LPG	kg	2,300	1,981	-13.9%
灯油	L	2,100	2,145	2.1%
コピー用紙	枚	50,000	50,000	0.0%

平成24年度 関東営業所 環境活動報告

作成日：H25年3月23日
作成者：関東(営)熊倉

平成24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	H23年 (10~12月)	
電気(Kwh)	4,968	6,541	7,472	7,108	5,887	4,815	4,742	5,455	5,226	4,727	4,947	6,356	68,244	15,278	
水道(m)		64		50		53		48		45		63	323	122	
LPG(kg)	541	914	751	458	85	22	582	421	713	118	170	632	5,407	787	
灯油(L)	400	400									400	400	1,600	400	
コピー用紙計(kg)	35.1	21.2	26.3	19.9	23.5	37.8	22.1	17.9	31.4	22.9	22.4	22.9	303	79.2	
コピー用紙A3(枚)	125	52	85	39	61	205	15	132	359	251	101	351	1,776		
コピー用紙A4(枚)	8,073	4,962	6,096	4,728	5,445	8,535	5,301	3,685	6,451	4,605	4,887	4,374	67,142		
コピー用紙B4(枚)	52	20	15	10	49	25	17	89	32	62	42	15	428		
コピー用紙B5(枚)	63	35	55	21	71	32	42	192	39	126	293	102	1,071		
コピー用紙計(枚)	8,313	5,069	6,251	4,798	5,626	8,797	5,375	4,098	6,881	5,044	5,323	4,842	70,417	19,422	
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	55,738	11,054

*排出係数0.464

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	休憩時間・使用してない場所は、こまめに消す	所員全員が意識を持って行動出来た
水道	出しっぱなしの防止	無駄な水は使用禁止が出来た
LPG	エアコン設定温度/暖房19度・冷房29度	設定温度の厳守に努めた
灯油	暖房用灯油の節約	無駄のない暖房に努めた
コピー用紙	極力、裏紙を利用する	ある程度意識を持って再利用出来た

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度取組内容
電気(Kwh)	現状維持	現状維持	現状維持	前年同様
水道(m)	現状維持	現状維持	現状維持	前年同様
LPG(kg)	現状維持	現状維持	現状維持	前年同様
灯油(L)	現状維持	現状維持	現状維持	前年同様
コピー用紙(枚)	現状維持	現状維持	現状維持	前年同様

		2012年度		
	単位	目標	実績	
電気	kwh	83,600	68,244	-18.4%
水道	m	550	323	-41.3%
LPG	kg	5,200	5,407	4.0%
灯油	L	1,600	1,600	0.0%
コピー用紙	枚	78,000	70,417	-9.7%

平成24年度 長野営業所・物流センター 環境活動報告

作成日:25/3/28
作成者:滝沢

平成24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	H23年 (10~12月)
電気(Kwh)	3,169	3,134	3,106	3,422	2,877	2,303	1,978	2,105	2,003	1,799	2,276	2,768	30,940	6926
水道(m)		27		28		38		30		28		27	178	55
LPG(kg)	302	360	422	308	152	0	34	164	370	140		216	2,468	206
灯油(L)	3,026	3,669	3,022	602						0.0	967	3,120	14,406	5808
コピー用紙計(kg)	63	44	48	87	63	24	33	43	36	14.3	48	31	534	118
コピー用紙A3(枚)	0	0	0	0	0	500	0	0	0	0	0	0	500	0
コピー用紙A4(枚)	11,000	9,000	9,500	16,000	10,500	3,000	6,000	8,000	7,000	2,000	9,500	7,000	98,500	23500
コピー用紙B4(枚)	0	500	0	0	500	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0
コピー用紙B5(枚)	3,000	0	0	500	2,500	0	500	500	1,000	0	500	0	8,500	1500
コピー用紙A5(枚)	4,500	2,000	4,500	10,000	4,500	2,500	3,500	4,500	2,000	3,000	4,000	1,000	46,000	8500
コピー用紙計(枚)	18,500	11,500	14,000	26,500	18,000	6,000	10,000	13,000	10,000	5,000	14,000	8,000	154,500	33500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													74891	22329

*排出係数0.455

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	必要の無い電気・電源のOFF 省エネパトロールの実施	11月が昨年に比べて消費が多くなってしまった。
水道	漏水チェック雨水利用	ほぼ変わらず 引き続き漏水チェックと雨水利用する。
LPG	エアコン設定温度の基準作成 ウォームビズ、クールビズの実施	12月が前年を大きく上回ってしまった。寒さの影響か
灯油	工場暖房の温度管理	11月は暖かったので、灯油の消費が少なかった。
コピー用紙	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底	10月以降は昨年を上回ってしまった。裏紙の利用の徹底をする。

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度取組内容
電気(Kwh)	30930	30920	30910	必要の無い電気・電源のOFF 省エネパトロールの実施
水道(m)	177	175	173	漏水チェック 雨水利用
LPG(kg)	2460	2455	2450	エアコン設定温度の基準 作成 ウォームビズ、クールビズ
灯油(L)	14405	14400	14355	工場暖房の温度管理
コピー用紙(枚)	154000	153500	153000	裏面再利用 必要部数のみ出力の徹底

	単位	2012年度		
		目標	実績	
電気	kwh	32,452	30,940	-4.7%
水道	m	170	178	4.7%
LPG	kg	2,260	2,468	9.2%
灯油	L	20,100	14,406	-28.3%
コピー用紙	枚	130,000	154,500	18.8%

平成24年度 岡山営業所 環境活動報告

作成日:2013/4/10
 作成者:野々上 宏一

平成24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	H23年 (10~12月)
電気(Kwh)	1,149	1,279	1,091	1,114	961	888	1,164	1,243	1283	911	1161	1187	13431	2953
水道(m)	16		15		18		21		15		18		103	16
LPG(m)	0.5	0.6	0.6	0.7	0.4	0.2	0.2	0	0.2	0.2	0.2	0.3	4.1	2.6
灯油(L)	195	161	400	0	0	0	0	0	0	0	200	272	1228	300
コピー用紙 計(kg)	0.0	30.6	0.0	27.1	0.0	20.4	20.4	0.0	0.0	30.6	0.0	0.0	129	65
コピー用紙A3(枚)				500									500	500
コピー用紙A4(枚)		7,500		5,000		5,000	5,000			7500			30000	12500
コピー用紙B4(枚)													0	0
コピー用紙B5(枚)													0	2500
コピー用紙 計(枚)	0	7500	0	5500	0	5000	5000	0	0	5044	0	0	30500	15500
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)													13928	2592

*排出係数0.657

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	営業所内内の電灯、電器のスイッチをこまめに切る。空調も外気に合わせて行う	やはり意識が低い。換気扇など消し忘れがある。電灯も人がいないのに点いている。
水道	節水に心掛ける。	機械を洗う洗車機の蛇口の締め忘れが、まだある。
LPG	湯沸かし器のお湯を出しっぱなしにしない。	あまり、使用頻度が無いのでこのまま続けたい。
灯油	暖房の設定温度も18℃を心掛ける。	換気に注意しながら、有効に暖房器具を使う。
コピー用紙	裏紙での使用。ペーパーレスに心掛ける。	以前よりは意識があるようだが、もう少し、がんばりたい。

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度取組内容
電気(Kwh)	12800	12700	12600	一人ひとりがエコアクションの取組意識を持って、節電を心掛ける。冷房28℃に！
水道(m)	110	108	105	天候云も増え洗車も増える時期ですが、効率の良い洗車をし、節水を心掛ける
LPG(m)	5	5	5	現在もムダに使っているような事はないので現状維持、お湯を出しっぱなしをしない
灯油(L)	1000	980	950	エアコンのフィルターを上手に調整し過度の暖房にならないようにする。暖房18℃
コピー用紙(枚)	28000	27000	26000	一人ひとりが表紙使用の意識を持つ追加価格表など、必要以上にコピーをしない

2012年度				
	単位	目標	実績	
電気	kwh	12,900	13,431	4.1%
水道	m	110	103	-6.4%
LPG	kg	5	4.1	-18.0%
灯油	L	1,000	1,228	22.8%
コピー用紙	枚	38,000	30,500	-19.7%

平成24年度 九州営業所 環境活動報告

作成日:2013/4/1
作成者:福永 美奈子

平成24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	H23年 (10~12月)	
電気(Kwh)	4,378	4,596	4,710	2,710	2,710	3,035	4,169	4,038	4558	3443	2987	3431	44765	11517	
水道(m)	27	35	42	35	45	39	45	105	69	108	89	112	751	72	
LPG(m)	0.3	1.7	1.5	1.7	0.7	0	0.1	0	0	0	0.1	0.8	6.9	0	
灯油(l)	200	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	600	380	
コピー用紙計(kg)	20.4	20.4	30.6	40.8	10.2	30.6	20.4	30.6	40.8	20.4	30.6	40.8	337	91.8	
コピー用紙A3(枚)													0	0	
コピー用紙A4(枚)	2,500	2,500	2,500	5,000	0	2,500	2,500	2500	5000	2500	2500	5000	35000	10000	
コピー用紙A5(枚)	5,000	5,000	10,000	10,000	5,000	10,000	5,000	10000	10000	5000	10000	10000	95000	25000	
コピー用紙B4(枚)													0	0	
コピー用紙B5(枚)													0	0	
コピー用紙計(枚)	7500	7500	12500	15000	5000	12500	7500	12500	15000	5044	12500	15000	130000	35000	
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	25064	6210

* 排出係数0.525

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	不要な電気を消す エアコンの温度管理	目標達成
水道	漏水確認	漏水発覚。25年度工事で要確認
LPG	ガス使用を控える	目標達成
灯油	倉庫暖房の温度管理	目標達成
コピー用紙	裏紙再利用	目標達成

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度取組内容
電気(Kwh)	50000	49000	47500	不要な電気を消す
水道(m)	340	330	320	漏水チェック
LPG(kg)	15	14	13	無駄なガス使用を控える
灯油(l)	1000	950	900	温度管理を行う
コピー用紙(枚)	150000	145000	144500	裏紙利用

	単位	2012年度		
		目標	実績	
電気	kwh	51,000	44,765	-12.2%
水道	m	340	751	120.9%
LPG	kg	21	6.9	-67.1%
灯油	l	1,200	600	-50.0%
コピー用紙	枚	155,000	130,000	-16.1%

平成24年度 南九州営業所 環境活動報告

作成日:2013/3/1
作成者:高木 忠孝

平成24年度 使用実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	H23年 (10~12月)	
電気(Kwh)	1,731	1,841	1,277	858	857	1,059	1,380	1,709	1554	1173	1065	1520	16024	3796	
水道(m)		22		23		26		29		37		29	166	54	
LPG(kg)	2.1	1.5	1.9	1.1	0	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	1.2	2.5	11.3	1.9	
灯油(L)												39.65	39.65	0	
コピー用紙計(kg)	6.7	10.2	23.4	0.0	0.0	0.0	20.4	0.0	0.0	0.0	10.2	20.4	91	20	
コピー用紙A3(枚)	500												500	0	
コピー用紙A4(枚)			5,000				5,000					5,000	15000	5000	
コピー用紙A5(枚)		5,000									5,000		10000	0	
コピー用紙B4(枚)			500										500	0	
コピー用紙B5(枚)													0	0	
コピー用紙計(枚)	500	5000	5500	0	0	0	5000	0	0	5044	5000	5000	26000	5000	
													二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	12996	2304

*排出係数0.525

平成24年度 取組み内容 及び 評価

	取組み内容	評価
電気	所内節電 エアコンの適正温度設定	エアコンの暖房を19℃以下 冷房28℃以上にした
水道	節水	無駄な水が減った
LPG	無駄な使用を控える	必要な時のみ使用した
灯油	エアコンと併用した利用	効率を考えて使用した
コピー用紙	必要最小限のコピー 裏面の活用	無駄なコピーが減った。裏面利用が増えた

次年度以降の目標

	平成25年	平成26年	平成27年	次年度取組内容
電気(Kwh)	16024	16024	16024	継続取組
水道(m)	166	166	166	継続取組
LPG(kg)	11.3	11.3	11.3	継続取組
灯油(L)	39.65	39.65	39.65	継続取組
コピー用紙(枚)	26000	26000	26000	継続取組

2012年度				
	単位	目標	実績	
電気	kwh	17,900	16,024	-10.5%
水道	m	240	166	-30.8%
LPG	kg	9	11.3	25.6%
灯油	L	未設定	39.65	
コピー用紙	枚	20,000	26,000	30.0%

代表者による全体の評価

一昨年の 10 月から活動対象範囲を営業所、出張所を含む社内全組織に拡大をしました。具体的な取組については営業所ごとに行っておりますが、営業所によって取組に対する温度差があるようです。事務所の規模、地域の風土等原因は色々あると考えられますが、事務局（本社）から直接目が届きにくい分、積極的に研修、講習等を通してモチベーションの維持、向上を図ってほしいと思います。

本社工場については、今年より太陽光発電の稼働が予定されております。購入電力の削減も期待するところです。デマンド管理など環境活動が経費削減に直接つながる事が実感できれば、省エネに対する意識もよりシビアになると思います。

今後は全組織が対象になった事もあり、改めて各部署の仕事内容を見直し、可能な範囲で環境活動との関連付けを強くしていきたいと思います。